

科目名	薬と医療行為 2							年度	2025
英語科目名	Medicine and medical practice 2							学期	後期
学科・学年	医療事務科 2 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	西松 正豊	教員の実務経験		有	実務経験の職種		薬剤師		
【科目の目的】 様々な病気について、関連部位、原因、診断名、治療法、関連する薬を理解する。特に身体のしくみと、それに関連する病気、薬の作用について理解する。									
【科目の概要】 処置、手術、検査等の医療行為を関連づけて病気や薬剤を理解します。									
【到達目標】 A. 薬の法律を理解できる。 B. 薬の名称および種類を理解できる。 C. 医薬品と処方を理解できる。 D. 薬物療法を理解できる。 E. 薬物の作用を理解できる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい		レベル 3 ふつう		レベル 2 あと少し		レベル 1 要努力	
到達目標 A	薬の法律を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬の法律を深く理解することができる		薬の法律を理解することができる		薬の法律をほとんど理解していない		薬の法律を理解していない	
到達目標 B	薬の名称および種類を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬の名称および種類を深く理解することができる		薬の名称および種類を理解することができる		薬の名称および種類をほとんど理解していない		薬の名称および種類を理解していない	
到達目標 C	医薬品と処方を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	医薬品と処方を深く理解することができる		医薬品と処方を理解することができる		医薬品と処方をほとんど理解していない		医薬品と処方を理解していない	
到達目標 D	薬物療法を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬物療法を深く理解することができる		薬物療法を理解することができる		薬物療法をほとんど理解していない		薬物療法を理解していない	
到達目標 E	薬物の作用を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬物の作用を深く理解することができる		薬物の作用を理解することができる		薬物の作用をほとんど理解していない		薬物の作用を理解していない	
【教科書】 適時、プリント配布									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 課題、小テスト、試験等を含めて総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

